



# けいし



<教育目標> 上妻を愛し、夢や希望に向かって、  
たくましく生きる子どもの育成

令和2年10月1日

## 学習の進み具合は？

ずいぶん涼しくなってきました。今年の夏は“酷暑の夏”だっただけに、この涼しさが気持ちよく感じます。

学校の周囲の田んぼでは稲刈りが行われています。また店頭には、秋の味覚の果物や野菜類が並び始めました。これから、一日ごとに気温が下がり、秋本番を迎えます。

さて、2月27日（金）から5月24日（日）まで、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために臨時休校になりました。

その臨時休校中に行う予定であった学習内容を、学校再開後（5/25）から順次行っています。

まず、3月に学習する予定であった前学年の未履修の内容を学習し、順次、新学年の4・5月に行う内容に移行していきました。全校児童が集う学校行事や児童集会等がほとんどできなかったために、その時間を教科等の学習時間に充て、カリキュラムに修正を加えながらすすめてきました。

9月末現在での学習の進捗状況は下記の通りです。

- ◎：9月末に学習するところまで、十分到達している
- ：9月末に学習するところまで、おおむね到達している
- △：9月末に学習するところまで到達していない



学年・教科	国語	算数	社会	理科
1年	◎	◎	生活	生活
2年	◎	◎		
3年	◎	◎	◎	◎
4年	◎	◎	◎	◎
5年	◎	◎	◎	◎
6年	◎	◎	○	◎



ご覧のように、全ての学年で9月末に学習すべき内容（4教科）のところまで到達しています。今後は感染状況をみながら、学校行事や各教科での体験活動等を少しずつ増やしていきたいと思えます。

### 10月の行事について

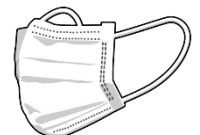
- 8日（木） 学校運営協議会
- 9日（金） 前期終業式
- 12日（月） 後期始業式
- 18日（日） 愛校作業  
\* PTA役員・理事・学級委員のみ
- 27日（火） 舞台芸術体験事業（4年）  
アクロス福岡にて
- 29日（木） 上妻スポーツフェスタ（全学年）
- 30日（金） 集団宿泊訓練の保護者説明会（5年）

例年、前期と後期の間のお休みは3日間となっていたのですが、今年は、コロナの影響で臨時休校が多くなったために、授業時数を確保する上から2日間となりました。

10日（土）、11日（日）がお休みです。

集団宿泊訓練の保護者説明会（30日）は体育館で行います。

必ず、マスクを着用の上、入り口で手指の消毒をお願いします。



## 「がんばったね。」のひと言で、やる気が変わる!

ずいぶん前の新聞に、下記のような記事が掲載されていました。

シルクロードの絵で知られる故平山郁夫（ひらやまいくお）さんは20代の終わり、体調の悪化をおして『仏教伝来』を描き、日本美術院展に出品した。数日して、名高い美術評論家だった河北倫明（かわきたみちあき）氏の院展評が新聞に載る。記事の末尾で「おもしろい味がある。」とだけほめていた。平山さんは歓喜する。何度も読み返しては、励みにして描き続けた。「ボクシングで言えば、ダウン寸前に救われた。」と。その数文字がなければ、後の輝かしい画業はなかったかもしれない。

ある保護者の方から、子ども達のがんばりをしっかりとほめたいという意見をいただきました。「よくがんばったね。うれしいよ。」と言ったことが、いかに大きな作用を持っているかというひとつの証が、この平山郁夫さんの記事に重なるのではないのでしょうか。

学校の掲示版『上妻小のキラリ ☆ 一番星』は語っています。



- 行動でお手本を示す姿は、さすが高学年です！ 机の並べ方も職人技でした！
- だまって、すみずみまでそうじをしていて、下級生のお手本になっています。さすが、6年生！
- リーダーとして下級生に丁寧に掃除の仕方を教えたり、すみずみまで掃除をしっていました。6年生らしい立派な態度でした。
- 毎日、掃除の予鈴が鳴ると、すばやく掃除の準備をして、ていねいにすみずみまで、そして時間いっぱい掃除してくれます。おかげで、保健室の床は、いつもピカピカです。ありがとう！

### PTA会費・教育振興費の徴収について

今年度はコロナの影響で、ほとんどのPTA行事ができない状況です。

そこで、先日(8/28)のPTA理事会で、今年度のPTA会費と教育振興費の予算について話し合わせ、以下のように徴収月が変更になります。

PTA会費：9月まで徴収。10月から3月まで徴収しない。

教育振興費：例年通り3月まで徴収する。

コロナの感染拡大を防ぐために、学習支援に来ていただく方（読書ボランティアさん、ゲストティーチャー等）を制限させていただいていました。

しかし、10月から少しずつ導入を進めていきたいと思えます。

ただし、三密回避を図るために、一教室1~3名程度にいたします。



### 子どもに伝えたい日本人の心 「うかつあやまり」

#### 「江戸しぐさ」（江戸時代の知恵）

『江戸しぐさ』という本に、「うかつあやまり」というマナーが紹介されています。

「うかつ」とは、「うっかりする」とか「不注意、ぼんやりする」という意味です。

例えば、人混みで足を踏まれてしまったとき、踏んだ人が「ごめんなさい。」と謝るのは当然ですが、踏まれた人も「こちらもうかつでした。」「うっかりしてすみません。」と謝るのです。この行為を『うかつあやまり』と言ったそうです。

「何で足を踏むんだ。どこを見て歩いているんだ。」などと怒ったりせずに、踏まれた人もぼんやりしていたことを詫言びて互いに譲り合い、許し合うことで穏やかに気持ちよく暮らすという江戸の人の知恵でした。

ほんの些細なことでもいさかいが起きる現代、ちよつとした気配りや言葉遣いが、人の心を温かくし、社会を円滑にします。

「ごめんなさい。」

「いいえ、こちらこそ。」

と言える心のゆとりを、子ども達に伝えたいものです。

「うっかりしておりました。」と謝るのは足を踏まれた人

